

実働型キャリア教育コーディネートのご提案

学校が決める。コーディネーターが、実践までつなぐ。

まず、育てたいこどもの姿、今の学習状況、先生方の課題や願いを伺います。

既存の計画・授業を確かめ、こどもの関心も踏まえて、必要な支援を先生方と一緒に決めます。

実働範囲・費用・安全・個人情報 は事前に学校と協議します。

学校の方針・計画が出発点

方針・内容・評価は、学校長・学校・先生方が決定

学校教育目標 × 児童生徒の実態
目指す児童生徒像 × 先生方の課題・願い

→ 学校が具体化する資質・能力
各学年の目標

→ **キャリア教育全体計画
年間指導計画**

基礎的・汎用的能力
学校が実態に応じて具体化・重点化

人間関係形成・社会形成能力

自己理解・自己管理能力

課題対応能力

キャリアプランニング能力

先生と分担し、私が実際に動くこと

必要な部分から、実働範囲を学校と相談

計画と授業をつなぐ

全体・年間計画との整合を確認
既存活動の棚卸し、教科・学年間の接続

教材・受入先を準備する

問い・事前事後学習・教材を設計
外部人材・関係機関との連携、連絡調整

一緒に実践する

準備・当日の運営補助、学習支援
学年や一人ひとりに応じた配慮を確認

学びを見取り、改善する

記録を整理し、学校の評価・改善を支援
次の授業・次年度の計画へ改善案を返す

カリキュラム・マネジメントを支援：教科等の関連付け、評価・改善、必要な人材・教材の確保

例えば、こんな学びを目指すなら

中学校・職場体験の提案例。ねらいは学校と決定。

先生と確かめる

自分の関心から
現場で質問できるようになってほしい

私が準備・調整する

→ 生徒が疑問を出す事前学習を設計。
受入先との打合せ、教材準備を担う。

生徒が次の学びを決める

→ 確かめたことと新しい疑問を整理。
次の授業で調べることを自分で決める。

自分の問いと体験を比べ、対話で気づきを言葉にする。その記録を次の授業で使うところまで設計します。

特別活動を要としたキャリア教育

学級・HR 活動、児童会・生徒会、学校行事等

→ 各教科・科目等／道徳科（小・中）・道徳教育

← 総合的な学習の時間（小 3 ～・中）／総合的な探究の時間（高）

見通す → 問いを持つ → 学ぶ・体験する → 対話する → 振り返る → 自分で次を決める

学びの組立て例。対話・振り返りは途中にも行います。職場体験・地域活動等の位置付けも、学校と確認します。

既存のキャリア・パスポート等を活用し、学級活動（3）・HR 活動（3）で対話・振り返り・意思決定へ。

記録を精選し、次の学習・生活、次の学年・校種へ。決めたことを日常で試し、また振り返ります。

目指す成果 こども：自分と社会を知り、次の一步を試す ／ 先生：教材・地域との関係・準備負担の軽減

学校：実践記録と評価結果を、全体計画・年間指導計画の改善へ

まずは、今ある授業・行事の「ここを手伝ってほしい」から、お聞かせください。

toi.manabi@gmail.com